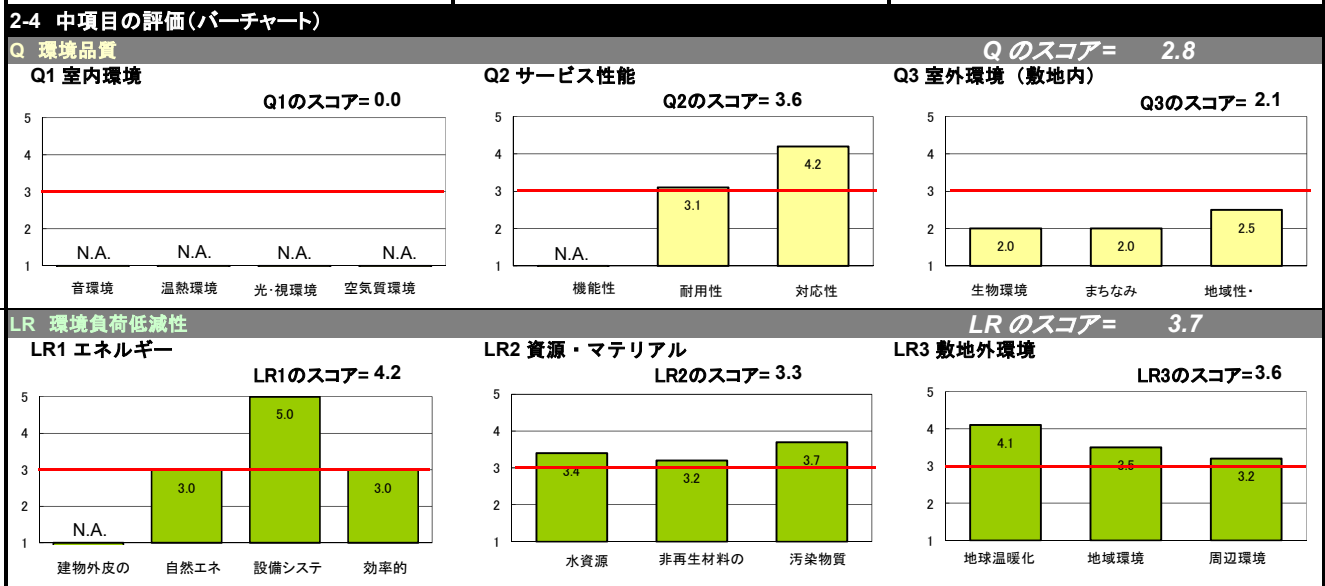
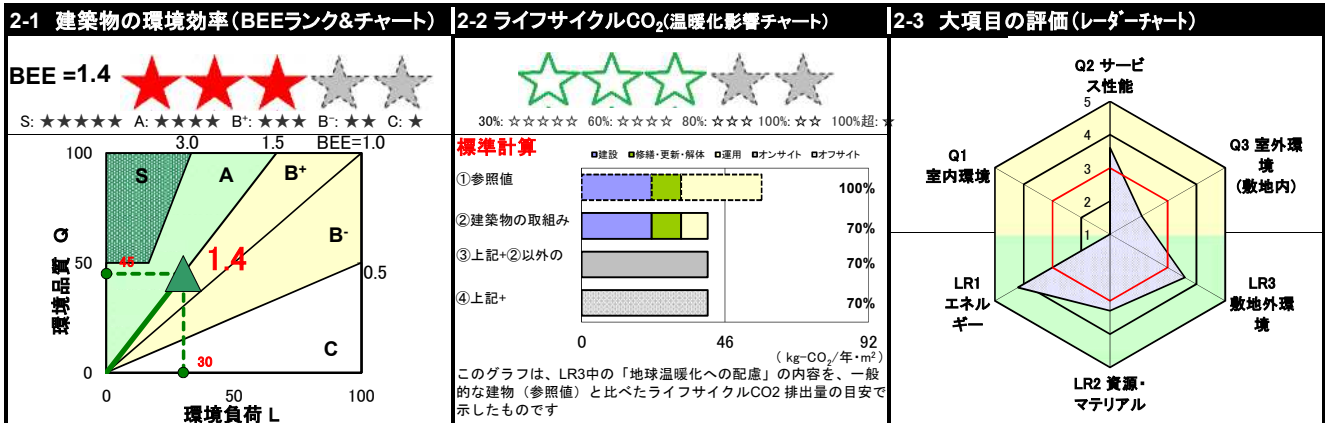


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木市猿ヶ島物流計画	階数	地上3F
建設地	神奈川県厚木市猿ヶ島字片池1番 外61筆	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2024年11月12日
敷地面積	35,986 m ²	作成者	㈱フジター級建築士事務所
建築面積	12,309 m ²	確認日	2024年11月13日
延床面積	36,477 m ²	確認者	㈱フジター級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・サービス性能への配慮を行う。 ・省エネルギー性能に配慮している。 ・資源、マテリアルの保護・使用量削減に努めている。	・特に無し。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・耐用年数の長い部品部材を採用している。 ・空間のゆとり、荷重のゆとりに配慮している。	・特に無し。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・BELm: 0.33。	・節水型水栓に加え、節水型便器の採用。 ・部材の再利用可能性向上のため、LGS下地を採用。 ・グラスウール、断熱サンドイッチパネルの採用等、発泡剤を用いた断熱材を採用していない。	・大気汚染防止に配慮している。 ・光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される